

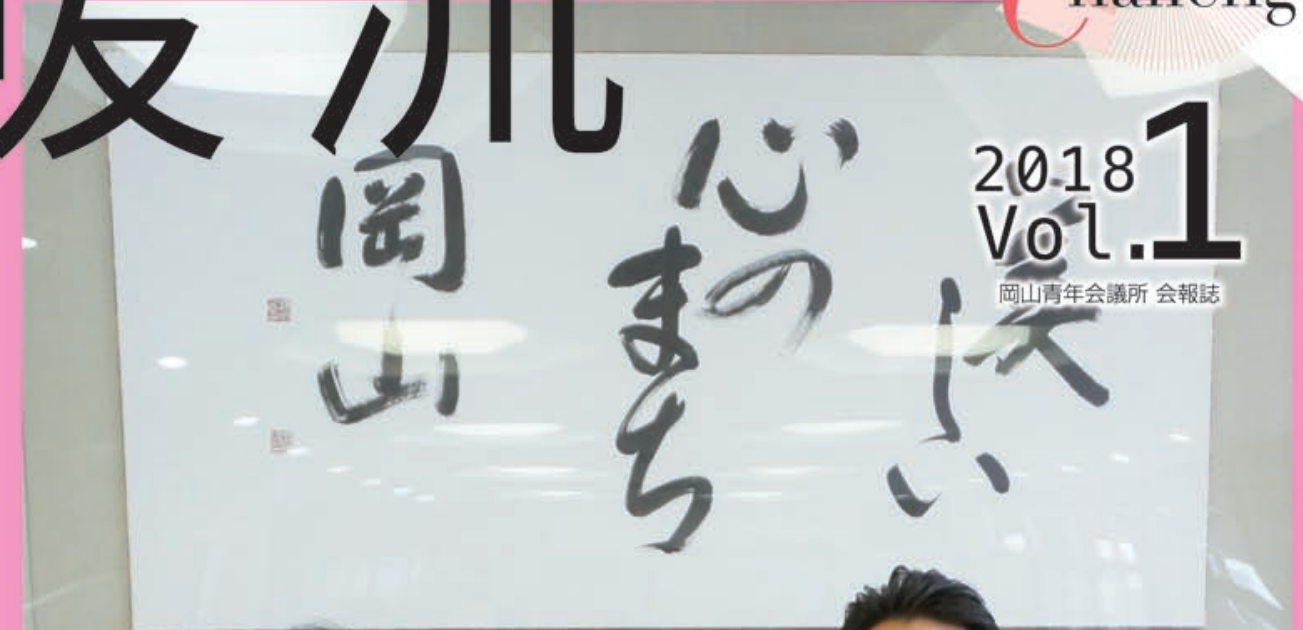
2018年度スローガン
Brave Challenge

2018年度サブタイトル
共感溢れる新時代へ!

2018年度ロゴマーク



暖流



2018
Vol.1
岡山青年会議所 会報誌

Junior Chamber International Okayama

公益社団法人岡山青年会議所 入会のご案内



私たち公益社団法人岡山青年会議所は、20歳から40歳までの次世代を担う若きリーダーが集う組織です。交流範囲の様々な人との「出会い」や「学び」、「成長」を繰り返します。地域社会や組織において、より優れたリーダーとなるための切磋琢磨を重ね、より豊かなまちづくりと人づくりを目指します。皆様もぜひ私たちと一緒に岡山青年会議所で、新たな可能性にチャレンジしましょう。

年齢・資格	満20歳以上39歳以下(H9.1.1生～S5.1.1生)の品格のある男女
募集期間	随時募集しております。詳しくは、下記事務局までお電話にてご連絡ください。
入会に際して 必要なものです	<ul style="list-style-type: none"> ●入会申込書(推薦者に署名と捺印をもらうこと) ●履歴書 ●入会誓約書(推薦者に署名と捺印をもらうこと) ●入会承諾書 ●作文 題目「岡山JCI入会にあたって」※万年筆またはボールペンで、楷書で記入のこと ※700字以上 ●会社謄本 ※資格のみで正業に従事する場合は、資格者証の写し ●本人の住民票 ●写真 ※縦4cm横3cm 4枚(うち一枚は履歴書に貼付) ※白黒写真ネクタイ着用・スピード写真不可
〈事務局〉	TEL:086-223-0938 FAX:086-225-0500 E-mail:info@jci-okayama.com 〒700-0985 岡山市北区厚生町3-1-15 岡山商工会議所ビル6F



PICK UP

- ・年頭所感
- ・新春特別対談
- ・年間事業予告

2018年度 岡山JCホームページ・facebook

■ ホームページアドレス
<http://www.okjc.org/2018/>



岡山JCではホームページでも情報を発信しております。事業紹介や会員拡大情報など随時更新しております。お気軽にホームページをご覧ください。

■ facebook
<https://www.facebook.com/okjc.org>



2018年度 広報誌「暖流」新春号 Vol.1

次号は6月発行予定です

■発行日/平成30年1月5日

■発行/公益社団法人岡山青年会議所
〒700-0985 岡山市北区厚生町3-1-15 岡山商工会議所ビル6F
TEL:086-223-0938 FAX:086-225-0500
URL <http://www.okjc.org/2018/> E-mail info@jci-okayama.com

■発行責任者/公益社団法人岡山青年会議所
岡山JCIパワーブランド確立委員会
委員長 石井聖至
大瀧健嗣 加藤高明 嶋田昌浩 三垣章一
児島都史 坂本雅樹 笹倉歩 佐藤一弥
武元浩 立岡海人 藤井彰一



Junior Chamber International Okayama
公益社団法人 岡山青年会議所

2018年度 理事長年頭所感



公益社団法人岡山青年会議所
2018年度 第68代理事長

青木 浩平



新年あけましておめでとうございます。

私は、2018年度公益社団法人岡山青年会議所第68代理事長を務めます、青木浩平と申します。

「明るい豊かな社会の実現」を活動の根幹とする私たち岡山青年会議所は、郷土おかやまの次代を担う青年として自らの行動に責任と、68年間連綿と受け継がれてきた歴史

と伝統を胸に、おかやまに住む人々が郷土に誇りが持てるまちづくりを、進取果敢な挑戦を繰り返し実現して参ります。

東京を含む首都圏では、オリンピックの開催に向け経済・文化共に盛り上がり、様々な資源が集中している一方、郷土おかやまに目を向けると、近年の少子化や大都市圏への人口流出を一因とした2020年以降見込まれる、岡山市の人口減少問題に付随して派生する様々な課題を、依然として多く抱えています。このような時代だからこそ、岡山青年会議所は地域に根差し存在意義のある団体として、地域の課題解決に向け、若者らしく先進的で斬新な手法を持って、それらの課題を解決していく運動・事業を展開して参ります。そしてひとが集い活気溢れるまちおかやまを創出していかなければなりません。

これからのまちづくりに重要なのは、若い世代が安心して暮らすことができ、誇りを持って自らの夢を描けるまちであること、そうでなければ、郷土の持続的な発展は望めません。岡山青年会議所は、おかやまにしかないポテンシャルの高い地域資源を掘り起こし魅力ある宝とし、郷土のみならず全国、そして世界の人々に発信し、その魅力に共感していただくことで新たな人の流れを生み、活気溢れるまち郷土おかやまを確立して参ります。

その結果、若い世代が郷土おかやまの価値に気づくことで郷土に誇りを持ち、おかやまのまちを愛してやまない、郷土おかやまの為に能動的に行動し貢献できる人材を育むことで、郷土愛溢れる輪を広げ多くのひとに愛されるまちおかやまとなり、郷土おかやまの持続的な発展を実現していく所存でございます。

最後になりましたが、関係各位におかれましては公益社団法人岡山青年会議所に今後とも多大なるご支援ご協力をいただきますことを衷心よりお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭所感



岡山県知事

伊原木 隆太

すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」を目指して

新年あけましておめでとうございます。

年頭に当たり、岡山青年会議所の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年は、新たな県政推進の羅針盤である「新晴れの国おかやま生き生きプラン」をスタートさせ、本県発展の好循環のエンジンとなる「教育県岡山の復活」と「産業の振興」に加え、おかやま創生実現の加速に向けた取り組みなどを中心にさまざまな施策を推進してまいりました。

教育の再生については、昨年の全国学力・学習状況調査において、小学生の平均正答率が初めて全国平均を上回るなど成果が表れてきており、今後も、目標を高く持ちながら、教師の教える技術の向上と子どもの学習習慣の定着、子どもたちが落ち着いて学習できる環境の整備などにより、さらなる学力向上を図っていくとともに、グローバル人材の育成に向けて、留学促進に関する施策などにも積極的に取り組んでまいります。

産業の振興については、新たな企業立地が相次いで実現するなど、着実に成果を挙げており、引き続き、戦略的な企業誘致の推進や中小企業等の稼ぐ力の強化に努めてまいります。

そして、喫緊の課題である人口減少問題の克服をはじめ、本県が持続的に発展するための経済力の確保や地域活力の維持に向け、市町村、企業、NPOなど多様な主体と連携し、結婚支援システム「おかやま縁むすびネット」による男女の出会いの場の創出や働き方改革等による出産・子育てしやすい環境の整備、移住・定住の促進など、「おかやま創生推進連携プロジェクト」に掲げている施策に総力を挙げて取り組んでまいります。新プランの下、引き続き、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」の実現に向け、本県発展に向けた好循環の流れをさらに大きく確かなものとし、県民の皆さまに、「岡山はよくなった、岡山に住んでよかったと実感していただける県政を力強く推し進めてまいりますので、皆さまにはご理解とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



岡山市長

大森 雅夫

岡山青年会議所の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素から、市政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、市政の羅針盤となる新総合計画の具体的展開を示す前期中期計画の策定や、学力向上と問題行動等の防止を柱とする教育大綱の策定など、市民の皆さまに、市政の方向性を示すべく力を注いでまいりました。

また、社会実験として7回にわたり継続してきた西川緑道公園筋の歩行者天国は、歩行者数が実施前の1.1倍超となるなど多くの成果が得られ、昨年、民間が主体となった定期開催への移行を実現したところです。

百年にふさわしく、実り多い年にすることができたと考えておりますが、まだまだ課題は山積しております。

本格的な人口減少・超高齢社会の到来に直面し、人口減少克服と東京一極集中是正を掲げる「地方創生」と「一億総活躍社会の実現」が国を挙げてのテーマとなる中、岡山市のような地方中核都市が、圏域の発展をリードする活力ある地域社会を実現していくためには、強みや特色をいかした経済の活性化と健全な財政運営との両立、さらには、女性や元気な高齢者の方々の社会参加を後押しする

条件整備などが重要となってまいります。

今年はいよいよ申・酉・戌と続く桃太郎の仲間の干支の最終年を迎えますが、全国ワースト2位となり、最大の懸案の一つとなっている待機児童問題をはじめ、地域振興や市街地の活性化、産業振興、教育改革、健康福祉など、これまでに種を蒔き、芽を出してきた取組の数々が、しっかりと根付き、花開くよう、引き続き、市民生活のさらなる充実と中四国のリーダーにふさわしい岡山市の発展のために力を尽くしてまいります。

年頭に当たり、皆様方の市政への一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、ますますのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。

年頭所感



公益社団法人日本青年会議所
中国地区協議会
第67代 会長

成瀬 公平

新年あけましておめでとうございます。公益社団法人岡山青年会議所が青木理事長のリーダーシップのもと、力強くスタートされましたことをお慶び申し上げますとともに、平素より中国地区協議会に対して格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

海外経済の拡大と内需の堅調な推移から回復基調にある日本経済。そして、実現が近いとされるAIのシンギュラリティ。期待と不安の中、次の時代を形作る新しい社会や生き方を模索することが必要です。しかし、そういう生き方は、誰にでもできるわけではありません。ロールモデルが少なく、前人未踏のフロンティアを切り開いていくのは、大変リスクの高い行為であり、とても高い能力が必要とされます。そのような挑戦は誰にでもできるわけではありません。新しい社会を作る尖兵となり得るのは、地域で活躍する青年経済人であり、青年会議所で志を立て覚悟をもって挑戦することを学ぶ私たちしかいません。私たち一人ひとりが青年会議所という学び舎で切磋琢磨し、次代の指導者となり、社会の発展に寄与できる人材となる。そして、あらゆる分野で活躍する成長を遂げます。中国地区のリーディングLOMとして岡山青年会議所の未来を切り開く新たな運動に期待しております。また、2018年度中国地区協議会は「未来を切り開く人材の育成と経済再生による地域

の力強る中国の実現のスローガンのもと人材育成と経済再生に挑戦します。青年経済人として大きく成長し、自らの営みを進化させ、明るい豊かな社会をともに実現しましょう。

青木理事長が率いられる公益社団法人岡山青年会議所が掲げられる「Brave Challenge 共感溢れる新時代へ!」のスローガンのもと、市民からの共感と信頼を得ることのできる運動が広く展開されますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。一年間、どうぞよろしく願い申し上げます。

年頭所感



岡山商工会議所
第60代 会頭

岡崎 彬

謹んで新年のお慶びを申し上げます。年頭にあたり、公益社団法人岡山青年会議所の皆様方のご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げますとともに、平素から当所の事業活動につきまして格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、米トランプ政権の誕生やEU諸国におけるポピュリズムの台頭、北朝鮮の核・ミサイル問題などの不安定要素を抱えながらも、世界経済は好調に推移し、わが国もアベノミクスの効果もあり、緩やかな景気回復が続きました。しかしながら、岡山県内の中小・小規模企業においては人手不足、後継者不足の深刻化など、景気回復の実感は今一歩という状況にあります。今後、当所としても、生産性向上、IT活用促進とともに事業承継、創業支援に一層力を入れるなど、企業が抱える諸課題に対し、迅速で実効性のある支援に努め、力強い岡山経済、地場企業の安定成長の実現に努めてまいりたいと思います。

一方、岡山市内でも、観光地や商業施設等に多くの外国人客が訪れるようになり、賑わいを見せてまいりました。このように国内外からの訪問客「交流人口」を増やすことができれば、人口減少時代においても、都市の活力を維持できると考えております。岡山は、災害が少なく、温暖な気候、豊かな歴史・文化、四季折々の食の魅力、さらには交通の結節点であることなど、多くの恵まれた資源があります。当所では、その資源を新たな魅力の創出につなげ、情報発信に努めるとともに、中心市街地の活性化や、やさしい都市交通の推進などに関係機関と一体となって取り組み、人が行き交う「歩いて楽しいまち・岡山」の実現を推進してまいります。

結びに、本年も、地域総合経済団体として中小企業の活力強化と魅力ある地域づくりに全力で取り組んで参りたいと存じます。どうか岡山青年会議所におかれましては、若き力にて郷土おかやまの発展に向けてより一層ご活躍されることを祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



公益社団法人日本青年会議所
第67代 会頭

池田 祥護

明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。平素より公益社団法人日本青年会議所の運動に多大なるご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。本年度、公益社団法人岡山青年会議所が理事長青木浩平君のもと、基本理念として「若者らしい先見性をもって、郷土おかやまに共感の輪を広げる運動をし、岡山青年会議所をパワーブランドとして確立しよう。そして、進取果敢な挑戦を続け、誇りあるまちおかやまを実現することで、郷土にもっとも求められる存在となろう」を掲げ、「Brave Challenge 共感溢れる新時代へ!」のスローガンを合言葉に、明るい豊かな社会を実現するため、邁進されますことを心より期待申し上げます。

貴青年会議所がこれまで、第三十四代会頭野津喬先輩をはじめとする多くの役員を本会に輩出され、日本の青年会議所運動を力強く牽引し、地域、ひいては国家の発展にご尽力されてこられたことに、深く敬意を表します。本会では、本年度、「和」の精神性が導く愛と希望溢れる国日本の創造」を基本理念として掲げ、各地会員会議所と手を携え、運動を展開して参ります。愛と希望溢れる国日本の創造は、地方創生無くしては実現しません。貴青年会議所におかれましては、地域の実状を的確に掴み、抽出した課題に正対し、地域の未来を切り開くリーダーとして、主体的な運動を展開されることを改めて期待申し上げます。本会と致しましても、地方創生に向けた政策を推進して参りますので、深いご理解のもと、引き続きのご支援、ご協力を賜るとともに、大いにご活用いただければ幸いです。

結びに、貴青年会議所のさらなるご発展、並びに、本年が先輩諸氏や現役会員の皆様にとって実り多き年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

人は、限りない可能性を秘めている 万物に感謝の心を以て、公に誠を尽くす 愛と希望溢れる国日本を創造するために

新年明けましておめでとうございます。

公益社団法人岡山青年会議所の皆様方が新たに青木浩平理事長をリーダーに迎え、希望に満ち溢れた新しい年の一歩を踏み出したこととお慶び申し上げます。

平素より公益社団法人岡山青年会議所の特別会員・現役会員の皆様には岡山ブロック協議会に多大なるご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。昨年は特別会員の皆様には様々な場面でご紹介と激励をいただきました。また、現役会員の皆様には多くの人材を御輩出いただき組織強化の要となっております。

皆様の温かいお気持ちに感謝をしながら、本年度岡山ブロック協議会は岡山県内15青年会議所のスケールメリットを生かし、岡山県内の各地から魅力を引き出し地域のブランドを創出いたします。そして、憲法改正世論が成熟しつつある今、憲法改正案の発議が可能となった2018年は、主権者意識の向上を図る千載一遇のチャンス年です。憲法改正の是非を輿論へと昇華させます。また、会員の現象によりLOM単体では困難になってきている会員の育成をブロック協議会が積極的に行なっていくと共に、会員減少に歯止めをかけるべく県内15LOMと一丸となって会員の拡大に取り組んで参ります。



公益社団法人日本青年会議所
中国地区岡山ブロック協議会
第54代 会長

佐古 一太

岡山青年会議所の皆様におかれましては「Brave Challenge 共感溢れる新時代へ!」のスローガンのもとで古来より日本人が大切にしてきた礼儀・礼節を重んじる和の精神性を大切にされ果敢に挑戦されることと存じます。岡山青年会議所の運動が沢山の共感を生み大きなインパクトを地域に生み出すことを祈念するとともに、岡山ブロック協議会とも共感で繋がることで岡山県全体を盛り上げていただきますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新春特別対談

岡山市長 大森 雅夫 × 第68代理事長 青木 浩平



青木理事長（以下、青木）：本日は大変お忙しい中、貴重な時間をいただきましてありがとうございます。どうぞよろしくお願いたします。今年で25周年を迎える「うらじゃ」についてお伺いたします。踊り連も年々増えておりまして、昨年は130連、6000名以上の方に参加いただく祭りとなりました。その「うらじゃ」について大森市長のご見聞をお聞かせいただければと思います。

大森市長（以下、大森）：私は高校までしか岡山にいなかったものですから、その頃は当然、「うらじゃ」はありませんでした。もちろんお祭りは他にもありましたが、「うらじゃ」のように夏の一日中、みんなが元気に楽しく踊っている祭りは全く経験していませんでした。故郷に戻ってきて「うらじゃ」を見て、まずは感動しました。また、共生をテーマとして行っている、ということは非常に素晴らしいこ

とだと感じています。

青木：今年が25周年ということで、これから毎年続いていくわけですが、私達も今後も持続的に発展するために、絶えず多角的に見据え支援していきます。今後の展開について期待されることはありますか。

大森：今や岡山の夏の風物詩になっていますので、ぜひ今後も続けてもらいたいです。あんなに暑い日にやるのか、というご意見もありますけれども、真夏の暑い時に「うらじゃ」をやる、というのが定番になっています。青年会議所が行われている「うらじゃ」の元気のよさ、楽しさというのを見つけていきたいと思っています。

青木：「うらじゃ」に関連したということではないですが、岡山市では今年から「ももたろうの街おかやま」ということで「鬼かわいい」を始められて、これに力を入れられた経緯をお聞かせいただけますか。

大森：私が市長になって総合計画を作りまして、その際に全国で通用するような岡山のイメージを売り出したらどうか、という案が上がりまして。もちろん岡山といえば桃やマスクットもあるかと思いますが、全国で桃太郎といえば岡山ということで、桃太郎を売り出していこうとなりました。そして桃太郎からのアプローチとしてどのようにしたらいいか、ということを考えて、動画を作ってみたり、岡山の奇跡といわれている桜井日菜子さんに登場していただきました。

青木：今後の展開はどのようにお考えですか。

大森：役所の行う事なので一年単位で変わっていきませんが、継続性というのが大事だと思っています。「鬼かわいい」動

画も2ヶ月で92万回再生されていますので、桜井日菜子さんにはこれからも登場していただきたいです。しかし同じことをやっていたのでは飽きられてしまいますが、人気を博しているものについては継続してやっていきたいと考えています。

青木：私も2018年度に青年会議所が行う事業の中で、市長のおっしゃられた全国的にも有名な桃太郎にスポットを当てて事業を行っていかうと考えております。「鬼かわいい」の発表のときと相まって考えた事業ですが、岡山城と後楽園の間を流れる旭川に桃のボートを何艘か浮かべようと「どんぶらこプロジェクト」を計画しています。大森市長は青年会議所と「鬼かわいい」との今後の繋がり方について、考えられておられますか。

大森：みんなで盛り上げていただけるとありがたいです。青年会議所を分解して考えると、経営者と若手という二つの側面があるかと思っています。若手らしい奇想天外な発想、そして経済人らしい発想の中で、我々行政や固定概念でステレオタイプに考える世代に対して、柔軟な発想で問題提起をしていただければありがたいと思います。



青木：青年会議所が行う事業で、今年で5回目となる「キッズビジネスパーク」というイベントがあります。最初は参加者が400名程だったものが、昨年はコンベックス岡山で1000人規模の参加を募って行うイベントになりました。子供の職業体験を通して、将来の夢を持ってもらおうという考えから始めた事業になります。今後の展開に期待されるものはありますか。

大森：同じような取組で、就実大学の先生が主催する「キッズタウンKYOYAMA」というイベントがありまして、先日、子供達と一緒に私も参加させていただきましたが、子供達が生き生きとしています。そういった経験を通して社会というものをおぼろげながらも知ることができるだろうし、意義あることだと思います。

青木：大森市長が力を入れて取り組まれている、待機児童の問題については今後どのように取り組まれていきますか。

大森：待機児童について、岡山市の場合、私の就任前はあまり取り組んでいませんでした。この数年で平均700くらいの子供を育てており、必要とされている方への保育の受け皿を作ることが大切だと考えています。ただ、急に作るにしても難しく、ハードだけでなくソフトの面、保育士の方の待遇をあげていく、また事務職員への助成も必要であり、まだまだ不足感があります。保育の問題は総合的な取組が必要

ですので、来年度の予算でも改善していく予定です。

青木：青年会議所は単年度制をとって運営しております。単年度制の良いところ悪いところもあると思いますが、事業を行うにあたりアドバイスをいただけますか。

大森：おかやまマラソンの事務局長は毎年、県と市が交代で担っています。また後楽園と岡山城の協議会も同様です。そうすることで、前年の問題点を克服していくことができますし、新たな取組を行っていかうという思いや前任者には負けないという精神が、必要なアイデアを出していくことに繋がると思っています。青年会議所も同様に毎年同じことをしているわけではないと思います。自分が理事長の時にテーマを決めて何をやるか、ということが将来の自分にもかえってきますし、1つ1つが青年会議所の足跡にもなっていきます。そういう点で、理事長が何をしようとするのか、皆が興味深々で見えています。スタートダッシュが肝心です。その様な気持ちで挑まなければ、すぐに終わってしまいます。

青木：その通りだと思います。今年が始まって半年も経てば「うらじゃ」も終了し、もう終わったような気持ちになると思います。また、まちづくり事業として考えている「どんぶらこプロジェクト」についてはぜひ成功させたいと思います。今、観光客に向けたインスタ映えするようなコンテンツが非常に大事になってくると考えております。そういった観点からも、この「どんぶらこプロジェクト」と「鬼かわいい」をコラボレーションさせていければと考えております。

大森：ところで、フルーツパフェを食べたことはありますか。岡山の旅行雑誌を見ていると、岡山で最初に載っているのはフルーツパフェです。どんぶらこのフルーツパフェをつくってみたいかがですか。ぜひ頑張ってください。

青木：ありがとうございます。では最後に岡山市として、岡山青年会議所に期待することをお聞かせいただけますか。

大森：先ほど申し上げた青年会議所の二つの要素、経営者として、若手としての力を思い切りそんぶんに発揮してほしいと思います。商工会議所や市議会、経済同友会など、立派な人たちが多いと思いますが、遠慮することなく、また特に行政に対しても自由奔放に頑張してほしいと思います。



年間事業告知

第5回キッズビジネスパーク

～「わくわくワーク!」共感でつながるおかやまの子どもたち～



本年度、5回目の開催を迎える、キッズビジネスパークは青木理事長の掲げる共感を意識し、市内小学3年生～6年生1,000名を対象に9月下旬に開催を予定しております。本事業は、児童保護者、ボランティア、出店企業、協力団体と連携し、地域資源を活用しながら新たな人の流れをつくるとともに、子ども達が職業体験を通じて地元企業の魅力を感じ、将来の夢や自己実現に対して意欲を持てるきっかけを提供することにより、働くことへの興味関心を高め、実社会の成り立ちや関わり方を学んで頂き、自分が思い描く未来や進みたい道、就きたい職業を考えて頂くことを目的としております。また、これまで5年に渡り訪れてきた岡山青年会議所の大切な事業として、事業構築の過程においても行政、他団体、地域企業と協働することにより、本事業に対する共感の輪を広げ、新たな主管団体へ事業移譲するにあたり、地域一丸のキャリア教育事業として位置づけられるよう、さらなる推進力を高めて参ります。



年間事業告知

うらじゃ



今年で第25回の節目となる「うらじゃ」。1994年に始まり、24年の歴史を着実に積み重ねてきました。昨年では132連6000名の踊り子にご参加いただき、800人ものボランティアにより運営されました。これもひとえに、踊り連や、ボランティアスタッフの皆様、ご支援をいただいております企業様、うらじゃを楽しみにしていただいている観客の皆様のお支えによるものと心より感謝申し上げます。本年も岡山青年会議所は、うらじゃ実行委員会の総務部会として、また開催支援広告協賛募集事業という形で参画いたします。本年は25周年の記念イベントも予定しております。参加される方々、観客の皆様にとって楽しい夏の思い出となるよう岡山青年会議所一同一丸となって設営をいたしますので、よろしくお願い申し上げます。